

第2期事業の概要

1 実施期間

第1期と同サイクルの4年間（30年度～33年度）とし、年度毎に評価・検証を実施

2 実施目的・内容

○より広い世代への健康づくりの浸透

【スマホアプリ】若い世代も含め広く健康づくりを浸透させていくために導入

【歩数計】スマホを使用していない高齢者等に向け、歩数計の配付を継続

○「歩く機会の創出」による参加者への継続支援の推進

	第1期	第2期		
目的	健康づくりのきっかけの提供	運動習慣の定着化を目指した参加者への継続支援（魅力的なイベント開催による「歩く機会の創出」）		
参加規模	参加者 30万人	第1期の参加目標 30万人を上回る規模を維持（※） （スマホアプリによる広い世代への健康づくりの浸透）		
		第1期からの参加者	歩数計継続利用 24万人 スマホアプリへ移行 6万人	30万人
		第2期からの参加者	歩数計利用 2万人 スマホアプリ利用 4万人	6万人
数値目標	参加者 30万人	「あと1,000歩歩く」ようになったと回答する人の割合を増やす（29年度時点 41%）		

※第2期参加者数予測

		平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	
歩数計利用	単年度(a)	5千人	5千人	5千人	5千人	
スマホアプリ利用	単年度	2.5万人	2.5万人	2.5万人	2.5万人	
	内訳	歩数計からの移行	(1.5万人)	(1.5万人)	(1.5万人)	(1.5万人)
		新規参加(b)	(1万人)	(1万人)	(1万人)	(1万人)
		累計	2.5万人	5万人	7.5万人	10万人
新規参加者数(a)+(b) (単年度)		1.5万人	1.5万人	1.5万人	1.5万人	
参加者総数 (累計)		31.5万人	33万人	34.5万人	36万人	

3 本市と共同事業者との役割分担

○第2期の共同事業者

ドコモ・ヘルスケア株式会社（代表企業）、凸版印刷株式会社、オムロンヘルスケア株式会社

○共同事業者の役割

「リーダーの設置・管理」や、商品券や寄付の原資となる「インセンティブの提供」、
「アプリや歩数計システムの運用」等

○本市の役割

「事業の全体運営」や申込受付やコールセンターなどの「事務局業務」、「広報・PR」等

4 データ分析・事業効果の検証

○歩数データ等分析とアンケート調査を有効に活用した検証の実施

○新たに医療費抑制等の効果検証について検討・着手